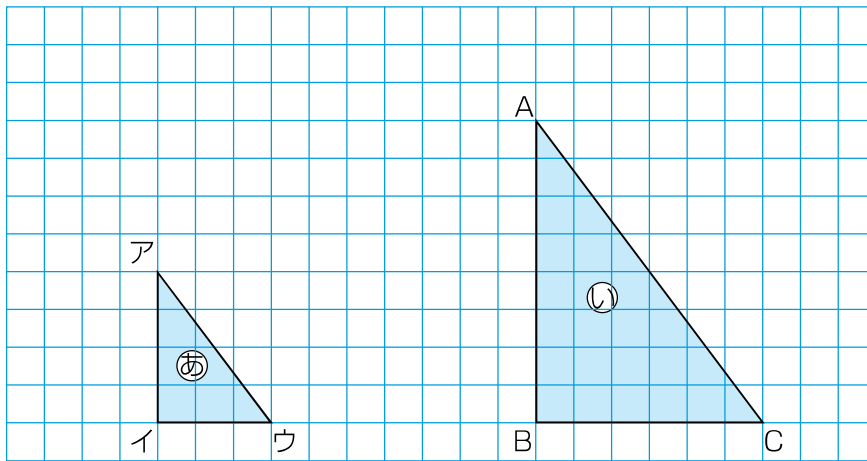




㊦と㊧の形をくらべてみましょう。



① 対応する辺の長さを比で表しましょう。

辺アイ : 辺 AB = 4 :

辺イウ : 辺 BC = 3 :

② ㊦と㊧では、対応する辺の長さの比はすべて 1 : になっています。

③ 対応する角の大きさをくらべてみましょう。

角ア = 角 角イ = 角 角ウ = 角

④ ㊦と㊧では、対応する の大きさはすべて等しくなっています。

⑤ 対応する辺の長さの比がすべて等しく、対応する角の大きさがそれぞれ等しくなるようにもとの図を大きくした図を といいます。

また、同じようにして小さくした図を といいます。

⑥ ㊧は㊦の 倍の拡大図、㊦は㊧の の縮図といいます。